

パソコン・コンピューターによる示範化学教育の試み

(2) 陽イオンの系統分析

藤井清志*・笹村泰昭**・川村静夫***
遠藤俊二****・照井文哉****

Application of Personal Computer to Chemical Education
(2) Systematic Analyses of Cations
Kiyoshi FUJII, Yasuaki SASAMURA, Shizuo KAWAMURA
Shunji ENDO and Fumiya TERUI

要旨

パソコンコンピューターとビデオプロジェクターとを併用した示範教育システム上で用いる化学教育用プログラムを試作した。このプログラムは陽イオン系統分析についての解説を行なう際に分析法のフローシートと操作手順等の説明用資料とを手際よく交互にスクリーン上に示すことで学生に分析法の流れをより効率よく理解させることを目的としている。

Abstract

A program running on a micro computer which constitutes a teaching support system were made for students to learn about procedure for systematic analyses of cations. Function of this program is as follows : Prerecorded description of analyses such as procedure for experiment, chemical reaction equations and analytical flow diagram were properly selected from data section in the program and were displayed immediately on a screen.

1. 緒 言

近年の科学技術の急速な進歩に伴い化学教育の場においても学生に教えねばならない情報量は確実に増加してきている。新しい知識を教えるためには単に古き知識と入替えるだけでなく講義や実験全般の教科目について時間数を圧縮していくことも必要になる。そのため化学の基礎分野もより効率よく、また確実に理解させることが望まれてくる。具体的には教材や教案をよく練り、また授業の方法も学生の記憶に残るように強い印象を与えるべく視覚に訴えるものにする等の工夫をする必要がある。

最近、発達とその普及が著しいコンピューター

の教育の場での利用は早くから検討されており、なかでも新しい授業形態への試みには多くのものがある^{1,2)}。本校でも教育方法等改善プロジェクトチームがパーソナルコンピューターとビデオプロジェクターとを併用した示範教育システム（以下、システムと略す）を開発した^{3,4)}（図1）。このシステムの特徴としては(1)大型スクリーンに教材を投影するので学生の目を教師の方に向けさせることができ、多人数に対しての一斉授業が可能で

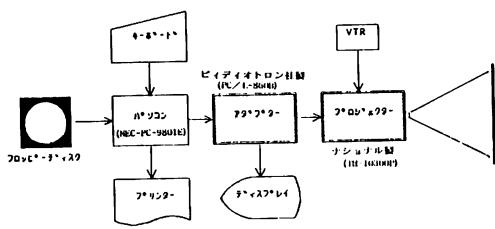


図1 システムのハードウェア

* 助 手 工業化学科

** 助教授 工業化学科

*** 教 授 工業化学科

**** 技 官 工業化学科

ある。従ってこれまで行なわれてきた講義のスタイルと大きな変更がなく授業方法のノウハウがそのまま生かせる利点がある。(2)グラフィックス命令が豊富なので変化のある画面を構成できる。これは学生の注意を引きつけておくのに効果的である。(3)学生の理解の状況に応じて反復するなど授業の進行に柔軟に対応できる。(4)市販のパーソナルコンピューターを用いているので、教師は手許にある同型のコンピューターを利用してこまめに教材を作成できる等があげられる。

これまでに本システムで用いる教材の例が種々報告されてきているが^{5,6)}、その多くは計算の結果を動きのある画面として表示するタイプのものであった。本報ではこのシステムのもうひとつの特徴である多くの資料から必要なものを素早く次々に表示していく機能を使った例を報告する。教材例は分析化学で行なわれる実験の解説用プログラムである。

2. 陽イオン系統分析実験

分析化学は化学を学ぶ者が初めに出会う専門の分野である。単に技術や知識として重要であるばかりでなく基本的な化学研究の姿勢を身につけることにもなり化学を志す者には必須の学問と考えられる。このため本校でも実験と講義が1年生から2年生にかけてのカリキュラムに組込まれている。このうち1年生で行なわれる分析化学実験には硫化物法による無機陽イオンの系統分析が主なテーマとして選ばれている。この実験では多くのイオンについての様々な化学反応を通じて分離・検出等の分析の基本的操作を学ぶほか、併せて無機化学の基礎的知識も系統的に学ぶことができるようになっている。このように初学者には適当と思われる実験ではあるが次のような問題がある。すなわち多くの化学反応を限られた時間内に学習しなければならないので試薬の名称を記憶することや個々の操作にのみ注意を集中するために系統分析全体の“流れ”や各イオンの関連性等に気付かないことが多く、各操作のどこに重点をおくべきかが判らないまま実験を進めてしまいその結果実験テキストの記述と異なる現象が起こると直ちに誤まりと考えてしまう傾向が強い。また文章読解力の不足も加わって操作手順を誤解することが多く、必要な物と不要な物とを取違えたりあるいは個々の実験のばらつきからくる試薬添加量の違いに気付かずテキストに示されているままに何の

疑いも持たず試薬を加えていくため失敗が起こり易い。

学生が陥り易いこのような状況を防ぐために教師は単に操作内容や反応の説明をするだけではなく、常に系統分析全体の流れを強調しつつ、繰返し分かり易く解説を行なうことが必要と考えられる。本プログラムはこのような背景を基に実験解説の補助手段として作製された。プログラムの一部として第1属用のものをリスト1に示す。

3. プログラムの機能

実験の解説に用いる資料を予めデータとして登録しておき、教師の説明に応じて順次表示していくことができる。資料としては従来の黒板とチョークによる授業で用いられたものならば、それほど難しくなくデータとしてプログラム化が可能である。本例では実験テキスト⁷⁾にある系統分析の実験フローシートおよび各々の実験操作手順等をデータとしてある。なおフローシートは画面一枚には描ききれないで、仮想の画面に描いた図の一部分をCRT(およびスクリーン)上に表示するようになっている。キーを操作することで任意の方向に図をシフトさせることができる。

また本プログラムはシーケンス制御部(リスト1, 1000行~4340行)と資料データ部(4350行~15430行)とを分離してあるので、他の同様な教材を作る場合にもシーケンス制御部が僅かな修正で利用できるので教材作成の手間が軽減できる特徴がある。

4. プログラム使用法

本プログラムを実行すると

- (1) 系統分析全体のフローシートが描かれ、何属の説明を行なうのかを選択できる(図2)。
- (2) 選ばれた属の分析フローシートが描かれる(図3)。
- スペースキーを押していくと
- (3) フローシート中の一項目にあたる操作について目的、原理、実験方法が示される(図4)。ここは本来教師が直接指導すべき部分であるが、このように文章化しておくと独習用にも使うことができる。また各操作毎の原理や目的などは実験テキストには特に記されてはおらず、学生がテキストの操作法と教師の説明とから考え出すことが望まれる部分である。しかしこの種の

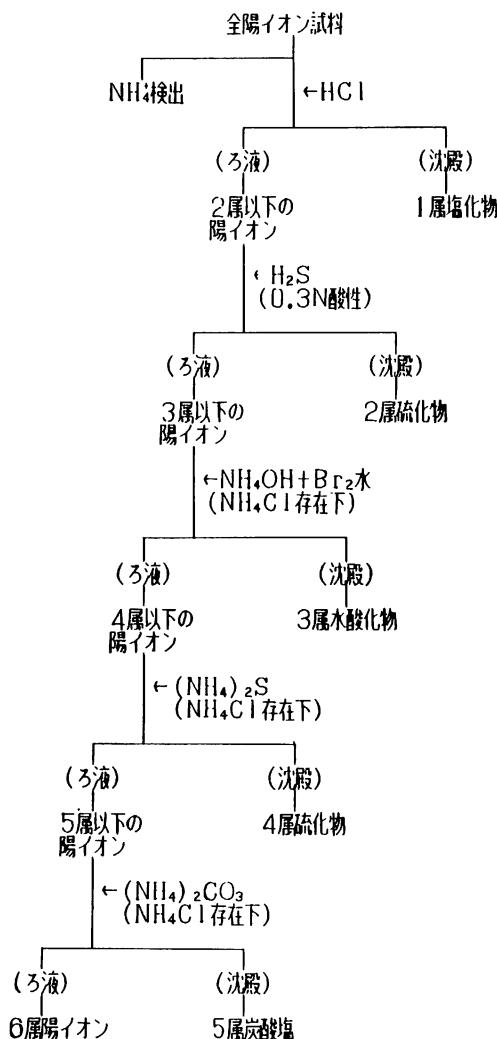


図2 全陽イオン系統分析フローシート

実験書を初めて読む学生にとってはその表現に戸惑うことも多く、時には誤った解釈をすることもあるので文章として掲げておくことも理解を助ける一つの方法かと思われる。

- (4) 次に反応式や化合物の色等が表示される(図5)。関連のある式をまとめておくと比較させしるのに便利である。また生じた化合物に色がある場合、化学式の文字を着色したり点滅させるようにして学生の注意を引くようにしてある。さらにキーを押していくと
- (5) 反応についての少し詳しい解説と実験についての注意、参考事項が表示される(図6)。文章や反応式だけではなく溶解度等のデータをおくことも有効である(図7)。

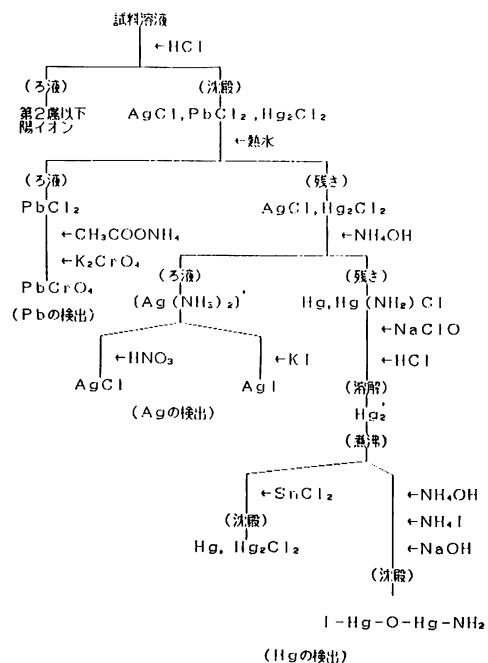


図3 第1属陽イオン系統分析フローシート

目的：銀イオンの検出

原理：銀アンミン錯イオンを含む溶液のpHを低下させていくと、銀イオンは存在し得なくなりついには再び塩化物の沈殿を生成するので検出することができる。

方法：銀アンミン錯イオンを含む溶液を二分して、その一方を用いる。

溶液にフェノールフタリン指示薬を1滴加える。すると溶液はピンク一赤色となる。ここに8N硝酸を1滴ずつ加えてはよく混合し、溶液のピンク色が消えるまで加える。白色の沈殿が生成したなら銀イオンの存在が確認されたことになる。

図4 実験解説資料(1)

(原理と実験方法)

反応式：

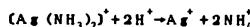
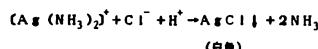


図5 実験解説資料(2)

(反応式)

注意と参考

1：溶液はアンモニア水のため塩基性となっている。アンモニアを含む化学種はNH4+とNH3である。これに酸を加えて中和していくとNH3 + H+ → NH4+と変っている。NH3の濃度は低下し、銀アンミン錯イオンも解離して再びAg+が生じてくる。溶液中に残存していたCl-と結合してAgClが再沈殿することになる。

2：フェノールフタリンは溶液の酸性度を知るために加えておく。すなわち酸を加えてアンモニアを中和していくと指示薬の色が消えるころには、塩化銀が沈殿するのに十分なAg+が存在しているはずである。

図6 実験解説資料(3)

(参考事項)

各種化物の溶解度 (g/100g 水溶液) 化学原範より				
	20	40	100	(°C)
AgCl	1.05	3.6	21.0	($\times 10^4$)
PbCl ₂	0.97	1.40	3.23	
Hg ₂ Cl ₂	2.35	6.0	-----	($\times 10^4$)

図7 実験解説資料(4)
(第1属塩化物の溶解度)

説明はフローシートの上から下へと進められるが、分岐点においてはキー操作によりどの方向に解説を進めるかを選択することもできる。また一度説明が済んだ部分を再度表示させるために逆戻りさせることも可能である。

一連の説明文の表示が終わると再びフローシートが描かれるが、解説を終えた部分は色を変えて表示するのでどの段階の説明を行なっているのかが直ちに判る。また本プログラムでは各実験操作について解説資料とフローシートとを交互に対比させながら教師が説明を行なうことができ、分析法の流れを理解させるには大変有効と思われる。

5. データ構造

本プログラムでは資料データは“モジュール”を単位として構成されており、これが順に表示されていく。また、フローシート中の実験操作のひとつつのステップは4個のモジュールから成っている(図8)。各モジュールには解説の内容についての水準(“レベル”)および実行するかキャンセルするかについての“フラッグ”を予め設定することができます。このレベルとフラッグを適当に選択することにより一つのプログラムをいくつかの異なる場面で利用することができる。例えば同じテーマの実験が2週間以上にわたる場合は中間で説明を繰返しておくことが多いが、その際既に実

験を終了している部分はフローシートのみを描いて復習するだけでも十分である。また実験に慣れてくれた頃には操作の細かなテクニックについてのモジュールはスキップさせてしまう方が説明をすっきりさせることができるなど目的に応じて編集することで授業の効率を向上させることができる。

解説用データは文章や反応式だけに限られることはない。他のプログラムを用いることも可能である。例として周期表の色分けプログラムをリスト2に示す⁸⁾。これは元素の周期表(超長周期型)を描いたうえで、各属毎や融点・沸点等の物性値による色分けを行なったりあるいは特定の化合物の実際の色あいを表示することができるものであり単独に動作させることができ完成されたプログラムである(図9)。これを資料用サブプログラムとして組込んでおくといくつかの場面で利用できる。例えば第2属硫化物や第3属水酸化物の色を示すようにするとそれぞれの元素の化学反応を周期表上の位置という点と関連して学生に捉えさせることができるものと期待される⁹⁾。このプログラムも本システムのグラフィクス機能を十分に活かせる例であろう。

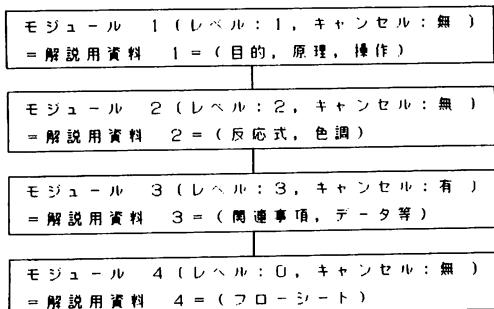


図8 資料データの構成

1 超長周期周期表

Input the number of a element! (END:0) , (ALL:999)?

5 金属性の硫化物の色表示

HIT SPACE KEY 1

2 諸元素の物性値

Element	Symbol	Number	Weight	M.P.	S.P.	Ion. Engr.	Radius
Hydrogen	H	1	1.00794	-259.14	-252.9	13.6	.3
Boron	B	5	10.81	2300	2550	8.3	.88
Carbon	C	6	12.011	3550	4827	11.26	.77
Nitrogen	N	7	14.0067	-209.86	-195.8	14.54	.7
Oxygen	O	8	15.9994	-218.4	-182.90	13.61	.66
Fluorine	F	9	19.9884	-219.02	-188	17.42	.64
Sodium	Na	11	22.9898	97.81	882	5.14	1.86
Magnesium	Mg	12	24.305	651	1107	7.64	1.6
Aluminum	Al	13	26.9815	600	4,462	5.98	1.43
Sulfur	S	16	32.0636	-100.8	-144.7	10.56	1.04
Chlorine	Cl	17	35.453	-100.08	-134.6	13.61	.98
Argon	Ar	18	39.948	-189.2	-185.7	15.76	1.51
Potassium	K	19	39.0985	65.5	774	4.34	2.31
Calcium	Ca	20	40.08	844	1487	6.11	1.97
Iron	Fe	26	55.847	1515	2750	7.9	1.26
Cobalt	Co	27	58.9332	1495	3100	7.86	1.25
Nickel	Ni	28	58.69	1455	2732	7.63	1.24
Copper	Cu	29	63.54	1084.5	2595	7.72	1.28
Zinc	Zn	30	65.38	419	907	9.39	1.33

Hit space key

6 金属性の水酸化物の色表示

Hit space key |

3 元素の融点による色分け

7 アルカリ金属の表示

1) Alkali-metals 2) Halogens 3) Inert-gases 4) Non-metals
Hit the number key 1-4 (Space key=END)

4 元素の沸点による色分け

3 非金属元素の表示

17 Alkali metals 27 Halogens 37 Inert gases 47 Non-metals
III the number key 1-4 : (Space key=END)

図9 周期表色分けプログラム実行例

プログラムリスト 1

(第1属陽イオン系統分析の解説)

```

2350 *$EXIT12
2340 PRINT USING "Do you want to look this module(%) again ?";$GROUPUR
2370 PRINT "Y or N"
2380 INPUT $9
2390 IF $9>"Y" AND $9<"N" THEN *GROUPMODULEEXIT
2390 RUN
2400
2410 *FORWARD
2420 *FORWARD                               'K=9(TAB),F-4
2430 SSF=1
2440 GOTO *FORWARD
2450
2460 *REVERSE
2470 SSF=1                                     'K=27(ESC),F-7
2480 GOTO *REVERSE
2490
2500 *ROLLLEFT                                'K=18,127,248,269,F-8,F-9
2510 IF LVL($O) > 0 THEN BEEP:GOTO *SODCONT
2520 IF K < 18 THEN CLS 310010 *ROLLLEFT
2530 IF K > 259 THEN CLS 310010 *ROLLRIGHT
2540 IF K > 249 THEN CLS 310010 *ROLLUP
2550 IF K > 249 THEN CLS 310010 *ROLLDOWN ELSE BEEP:STOP
2560
2570 *ROLLLEFT                                'K=18(INS)
2580 XBIASLO=XBIAS:XBIAS=XBIAS=RUNT
2590 IF XBIAS>XBIASLT THEN XBIAS=XBIASOLD:BEEP
2600 GOTO *ROLLLEFT
2610
2620 *ROLLRIGHT                               'K=127(DEL)
2630 XBIASLO=XBIAS:XBIAS=XBIAS=RUNT
2640 IF XBIAS>XBIASPT THEN XBIAS=XBIASOLD:BEEP
2650 GOTO *ROLLRIGHT
2660
2670 *ROLLUP                                  'K=248(ROLL UP),F-7
2680 YBIAS=YBIAS:YBIAS=YBIAS=RUNT
2690 IF YBIAS>YBIASLT THEN YBIAS=YBIASOLD:BEEP
2700 GOTO *ROLLUP
2710
2720 *ROLLDOWN                                'K=249(ROLL DOWN),F-8
2730 YBIAS=YBIAS:YBIAS=YBIAS=RUNT
2740 IF YBIAS>YBIASPT THEN YBIAS=YBIASOLD:BEEP
2750 GOTO *ROLLDOWN
2760
2770 *ROLLLEFT                                'K=29(-),28(-),F-1,F-2
2780 RUNT:ROLLUNIT
2790 OSUS=Y$HSCONT
2800 PAS($O)=1
2810 IF ASF=1 THEN K=31:GOTO *SODCONT2 ELSE *SODCONT
2820 GOTO *SODCONT
2830
2840 *LEFRIGHT                                 'K=29(<),28(<),F-1,F-2
2850 OSUSB=*CALCPASSALL
2860 IF PASSAL=1 THEN CDF=0:EOF=1:GOTO *SODEXIT
2870 TSO=$O
2880 OSUSB=*CALCB9V
2890 IF BSK=1 OR TSW=1 THEN BEEP:GOTO *SODCONT
2900 IF K > 29 THEN NUM=1 ELSE NUM=2
2910 L$=S$+1
2920 S$=S$+1
2930 OSUSB=*CALCNM
2940 OSUSB=*NMTO$O
2950
2960 *LEFRIGHTH12                            'K=31,32(SPACE),F-3
2970 IF PAS($O)=1 THEN BEEP:GOTO *SODCONT
2980 IF LVL($O)>LEVEL THEN *LEFRIGHT3
2990
3000 OSUSB=*CALCASF
3010 IF ASF=1 THEN *LEFRIGHT3
3020 OSUSB=*SODCONT
3030 PAS($O)=1
3040 GOTO *LEFRIGHTH12
3050
3060 *LEFRIGHTH13                            'K=31,32(SPACE),F-3
3070 PAS($O)=1
3080 SD=S$+1
3090 TSO=S$+1
3100 OSUSB=*CALCB9V
3110 OSUSB=*CALCB9W
3120 IF BSH=1 THEN *LEFRIGHT2
3130 GOTO *LEFRIGHTH13
3140
3150 *FORWARD                                 'K=31,32(SPACE),F-3
3160 IF PASSAL=1 THEN CDF=0:EOF=1:GOTO *SODEXIT
3170 TSO=$O
3180 LS$=S$+1
3190 #FORWARD2
3200 TSO=$O
3210 #FORWARD2
3220 TSO=$O
3230 OSUSB=*CALCNM
3240 IF NMH=0 THEN BEEP:OSUSB=NUM:EOF=1:GOTO *SODEXIT
3250 OSUSB=*NMTO$O
3260 S$=S$+1
3270 IF PAS($O)=1 THEN HUMPHM=1:SOH=SO:GOTO *FORWARD2
3280 IF LVL($O)>LEVEL THEN #FORWARD4
3290 IF S$>1 THEN #FORWARD3
3300 IF LVL($O)>LEVEL THEN #FORWARD4
3310 #FORWARD3
3320 TSO=$O
3330 LS$=S$+1
3340 #FORWARD4
3350 TSO=$O
3360 OSUSB=*CALCASF
3370 IF ASF=1 THEN *FORWARD4
3380 OSUSB=*SODCONT
3390 PAS($O)=1
3400 GOTO *FORWARD4
3410 PAS($O)=1
3420 REP
3430 GOTO *FORWARD2
3440
3450 *REVERSE                                 'K=30,-
3460 IF SOH=0 AND CDF=1 THEN EOF=1:GOTO *SODEXIT
3470 IF LSO($O) THEN SOH=1:LSH=0:PAS($O)=0:ICDF=0:GOTO *ENT$O
3480 TSO=$O
3490 OSUSB=*SOTONM
3500 GOTO *SOTONM
3510 TSO=$O
3520 OSUSB=*SOTONM
3530 GOTO *SOTONM
3540
3550 IF THRN=THRD AND SSF=0 THEN FOR I=L$O TO SOH:PAS(I)=0:NEXT I
3560 GOTO *REVERSE2
3570 TSO=$O
3580 OSUSB=*SOTONM
3590 FOR I=S$-100 TO SOH
3600 PAS(I)=0
3610
3620 #FORWARD2
3630 PAS(L$O)=0
3640 IF SSF=0 THEN *REVERSE4
3650 IF PAS($O)>THRD THEN *REVERSE4
3660 TSO=$O
3670 OSUSB=*SOTONM
3680 THRN=THRD
3690 ICDF=0:THRM=3
3700 OSUSB=*NMTO$O
3710 L$O=TSO
3720 IF PAS($O)=0 THEN *REVERSE3
3730 PAS(L$O)=0
3740 SOH=SO
3750 OSUSB=*SODCONT
3760 PAS($O)=1
3770 *REVERSE3
3780 IF SSF=1 THEN L$O=L$O-1:GOTO *REVERSE2
3790 *REVERSE2
3800 L$O=L$O-1

```

P 1 - 2

```

8210 GOSUB *FLOW
8220 PASG(0)=1   レギュレータ ピックラ
8230 RETURN
8240
8250 *DSH01
8260 CLS 3
8270 GOSUB *VAR2
8280 PRINT " ---試用開始---"
8290 PRINT " 0:終了"
8300 PRINT " 1:酸化物は以下に表示する場合のイオンを含んでいます。"
8310 PRINT " 2:酸化物は以下に表示する場合のイオンを含んでいません。"
8320 PRINT " 3:酸化物は以下に表示する場合のイオンを含んでいます。"
8330 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH120),PSET,FCOL,BCOL '^'
8340 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH123),PSET,FCOL,BCOL '^'
8350 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH124),PSET,FCOL,BCOL '^'
8360 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH125),PSET,FCOL,BCOL '^'
8370 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH126),PSET,FCOL,BCOL '^'
8380 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH127),PSET,FCOL,BCOL '^'
8390 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH128),PSET,FCOL,BCOL '^'
8400 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH129),PSET,FCOL,BCOL '^'
8410 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH130),PSET,FCOL,BCOL '^'
8420 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH131),PSET,FCOL,BCOL '^'
8430 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH132),PSET,FCOL,BCOL '^'
8440 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH133),PSET,FCOL,BCOL '^'
8450 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH134),PSET,FCOL,BCOL '^'
8460 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH135),PSET,FCOL,BCOL '^'
8470 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH136),PSET,FCOL,BCOL '^'
8480 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH137),PSET,FCOL,BCOL '^'
8490 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH138),PSET,FCOL,BCOL '^'
8500 PRINT " "
8510 PRINT " ■第2回終了(次回(Hg(II)) (スズ(3))ヒ素(As) アンチモン(Sb))"
8520 PRINT " "
8530 PRINT " ■第3回 : 銀(Ag) アルミニウム(Al) クロム(Cr) マンガン(Mn)"
8540 PRINT " "
8550 PRINT " ■第4回 : 銅(Cu) ニッケル(Ni) コバルト(Co)"
8560 PRINT " "
8570 PRINT " ■第5回 : カルシウム(Ca) ストロンチウム(Str) バリウム(Ba)"
8580 PRINT " "
8590 PRINT " ■第6回 : テトリウム(Te) カリウム(K)"
8600 PRINT " "
8610 PRINT " 各イオンの濃度は、0.1(mol/l)で、この環境(1M)を基準としている。"
8620 RETURN
8630
8640 *DSH02
8650 CLS 3
8660 GOSUB *VAR2
8670 RETURN
8680
8690 *DSH03
8700 GOSUB *FLOW
8710 RETURN
8720
8730 *DSH04
8740 CLS 3
8750 GOSUB *VAR2
8760 PRINT " ■第1回 種イオンの分母"
8770 PRINT " "
8780 PRINT " ■第2回 : 鉛(Pb)は試験場地に種イオン(この場合は鉛)を残すと重い種イオンのみが活性化"
8790 PRINT " "
8800 PRINT " ■第3回 : 地盤を生成するまでの第2回以下のイオンから分離することができます。"
8810 PRINT " "
8820 PRINT " ■第4回 : 方言: 試験場(1M)で鉛を残すと、ここに0.01M鉛(1M鉛)を残す。実験場で鉛を残す"
8830 PRINT " "
8840 PRINT " ときどきある。上層土に鉛を残す。もし鉛を残さなければ生き残る。"
8850 PRINT " "
8860 PRINT " 耐久よく留めた後、冷水で洗浄、う過ぎを用いて洗浄を繰り返す。"
8870 PRINT " "
8880 PRINT " 地盤は0.1M鉛を失なうまで洗浄する。"
8890 PRINT " "
8900 PRINT " 5回は第2回以下のイオンの試験とする。"
8910 PRINT " "
8920 PRINT " 実験についても種イオンの濃度と操作操作を行なう。"
8930 PRINT " "
8940 RETURN
8950
8960 *DSH05
8970 CLS 3
8980 GOSUB *VAR2
8990 PRINT " 反応式:"
9000 PRINT " "
9010 PRINT " ■第1回 : Ag+ + Cl- = AgCl↓"
9020 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH120),PSET,FCOL,BCOL '^'
9030 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH123),PSET,FCOL,BCOL '^'
9040 PRINT " "
9050 PRINT " ■第2回 : Pb2+ + Cl- = PbCl↓"
9060 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH120),PSET,FCOL,BCOL '^'
9070 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH123),PSET,FCOL,BCOL '^'
9080 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH124),PSET,FCOL,BCOL '^'
9090 PUT (16*8.5.16* 3-3),KANJI(MH125),PSET,FCOL,BCOL '^'
9100 PRINT " "
9110 PRINT " ■第3回 : Hg2+ + 2Cl- = HgCl↓"
9120 PUT (16*8.5.16* 6-3),KANJI(MH120),PSET,FCOL,BCOL '^'
9130 PUT (16*8.5.16* 6-3),KANJI(MH123),PSET,FCOL,BCOL '^'
9140 PUT (16*8.5.16* 6-3),KANJI(MH124),PSET,FCOL,BCOL '^'
9150 PUT (16*8.5.16* 6-3),KANJI(MH125),PSET,FCOL,BCOL '^'
9160 PUT (16*8.5.16* 6-3),KANJI(MH126),PSET,FCOL,BCOL '^'
9170 PUT (16*8.5.16* 6-3),KANJI(MH127),PSET,FCOL,BCOL '^'
9180 PRINT " "
9190 PRINT " ■第4回 : "
9200 PRINT " "
9210 PRINT " ■第5回 : 全種イオンはすべて白色"
9220 PRINT " "
9230 PRINT " ■第6回 : 酸化物はすべて白色。ただしAgClはしないに青色でなくなる。"
9240 RETURN
9250
9260 *DSH06
9270 CLS 3
9280 GOSUB *VAR2
9290 PRINT " 注意と参考事項"
9300 PRINT " "
9310 PRINT " 1: 洗浄液に溶解するまで種イオンを生じて洗浄を再開させることができます。"
9320 PRINT " "
9330 PRINT " ■第1回 : Ag+ + Cl- = AgCl↓ Pb2+ + 2Cl- = PbCl↓"
9340 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH120),PSET,FCOL,BCOL '^'
9350 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH123),PSET,FCOL,BCOL '^'
9360 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH124),PSET,FCOL,BCOL '^'
9370 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH125),PSET,FCOL,BCOL '^'
9380 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH126),PSET,FCOL,BCOL '^'
9390 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH127),PSET,FCOL,BCOL '^'
9400 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH128),PSET,FCOL,BCOL '^'
9410 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH129),PSET,FCOL,BCOL '^'
9420 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH130),PSET,FCOL,BCOL '^'
9430 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH131),PSET,FCOL,BCOL '^'
9440 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH132),PSET,FCOL,BCOL '^'
9450 PUT (16*8.5.16* 4-3),KANJI(MH133),PSET,FCOL,BCOL '^'
9460 PRINT " "
9470 PRINT " 2: 洗浄液を洗浄する前の洗浄液を生成する(通常) 分離で容易にするためである。"
9480 PRINT " "
9490 PRINT " 3: 洗浄液を洗浄する前の洗浄液を生成する(通常) 分離で容易にするためである。しかし"
9500 PRINT " 4: 洗浄液を洗浄する前の洗浄液を生成する(通常) 分離で容易にするためである。しかし"
9510 PRINT " 5: 洗浄液を洗浄する前の洗浄液を生成する(通常) 分離で容易にするためである。しかし"
9520 PRINT " 6: 洗浄液を洗浄する前の洗浄液を生成する(通常) 分離で容易にするためである。しかし"
9530 PRINT " 7: 洗浄液を洗浄する前の洗浄液を生成する(通常) 分離で容易にするためである。しかし"
9540 PRINT " 8: 洗浄液を洗浄する前の洗浄液を生成する(通常) 分離で容易にするためである。しかし"
9550 PRINT " 9: 洗浄液を洗浄する前の洗浄液を生成する(通常) 分離で容易にするためである。しかし"
9560 PRINT " 10: 洗浄液を洗浄する前の洗浄液を生成する(通常) 分離で容易にするためである。しかし"
9570 PRINT " "
9580 *DSH07
9590 GOSUB *FLOW
9600 RETURN
9610
9620 *DSH08
9630 CLS 3
9640 GOSUB *VAR2
9650 PRINT " ■第1回 : 全種イオン"

```

P 1 - 4

```

12450 PRINT " & NH である。これに図を加えて中和していくと NH + H -> NH となっている。"
12460 PRINT " NH の濃度は低下し、酸アソニウムイオンも同時に減少していく。"
12470 PRINT " 最後に残っている AgCl と結合して AgCl が生成することになる。"
12480 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12490 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12500 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12510 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12520 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12530 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12540 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12550 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12560 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12570 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12580 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12590 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12600 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12610 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12620 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12630 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12640 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12650 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12660 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12670 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12680 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12690 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12700 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12710 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12720 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12730 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12740 PRINT " 2: フルラインは溶液の酸性度を用いたものによっていくと、すなはち式を組む。"
12750 PUT (16+38 ,16+ 2 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
12760 PUT (16+38 ,16+ 2 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
12770 PUT (16+38 ,16+ 2 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
12780 PUT (16+38 ,16+ 4 ),KANUJI(MH133).PSET,FCOL,BCOL :'
12790 PUT (16+38 ,16+ 4 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
12800 PUT (16+29 ,16+ 4 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
12810 PUT (16+32 ,16+ 4 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
12820 PUT (16+32 ,16+ 4 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
12830 PUT (16+32 ,16+ 4 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
12840 PUT (16+30 ,16+ 6 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
12850 PUT (16+13 ,16+ 8 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
12860 PUT (16+13 ,16+ 8 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
12870 PRINT " "
12880 GOSUB +VAR2
12890 RETURN .
12900 #DSH31
12920 GOSUB +FLOW
12930 RETURN .
12950 #DSH32
12960 CLS 3
12970 PRINT " 計算: 鹽イオンの増加 !!!"
12980 PRINT " 計算: 鹽アソニウムイオンを含む溶液にはからず濃度ではあるか鹽イオン (Ag+) "
13000 PRINT " も存在している。ここにヨウ化イオンを加えるとヨウ化物の濃度を生成するので"
13010 PRINT " も存在している。ここにヨウ化イオンを加えるとヨウ化物の濃度を生成するので"
13030 PRINT " も存在している。ここにヨウ化イオンを加えるとヨウ化物の濃度を生成するので"
13040 PRINT " も存在している。ここにヨウ化イオンを加えるとヨウ化物の濃度を生成するので"
13040 PRINT " 方法: 鹽アソニウムイオンを含む溶液を二分してその一方で IN 3ウカリウム溶液"
13070 PRINT " 1滴加する。白色の沈殿を生じたら、鹽イオンが生成していることが判る。"
13080 PUT (16+37 ,16+ 2 ),KANUJI(MH129).PSET,FCOL,BCOL :'
13100 RETURN .
13120 #DSH33
13140 PRINT " 溶液と水を:"
13150 PRINT ;PRINT
13160 PRINT " (Ag (NH3)) + - Ag + 2NH "
13170 PRINT " (Ag (NH3)) + - Ag + 2NH "
13180 PUT (16+ 7 ,16+ 3 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
13190 PUT (16+ 8 ,16+ 3 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
13200 PUT (16+13 ,16+ 3 ),KANUJI(MH228).PSET,FCOL,BCOL :'
13210 PUT (16+13 ,16+ 3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13220 PUT (16+20 ,16+ 3 ),KANUJI(MH133).PSET,FCOL,BCOL :'
13230 PRINT " TAB(22);"(白色)
13240 PRINT " TAB(23);"(白色)
13250 PRINT " (Ag (NH3)) - Ag + 2NH "
13260 PUT (16+ 6 ,16+ 7 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
13270 PUT (16+ 6 ,16+ 7 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
13280 PUT (16+ 6 ,16+ 7 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13290 PUT (16+ 6 ,16+ 7 ),KANUJI(MH228).PSET,FCOL,BCOL :'
13300 PUT (16+ 8 ,16+ 7 ),KANUJI(MH228).PSET,FCOL,BCOL :'
13310 PUT (16+13 ,16+ 7 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13320 PUT (16+20 ,16+ 7 ),KANUJI(MH133).PSET,FCOL,BCOL :'
13330 PRINT ;PRINT
13340 PRINT " Ag + + - Ag + "
13350 PRINT " (Ag (NH3)) + - Ag + 2NH "
13360 PUT (16+ 3 ,16+10 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13370 PUT (16+ 4 ,16+10 ),KANUJI(MH228).PSET,FCOL,BCOL :'
13380 PUT (16+10 ,16+ 6 ),KANUJI(MH220).PSET,FCOL,BCOL :'
13400 RETURN .
13410 #DSH34
13420 CLS 3
13430 PRINT " 溶液と水を:"
13440 PRINT " 計算: 鹽アソニウムイオン (Ag+) の溶解度は  $1.22 \times 10^{-5}$  mol/l で塩酸 (AgCl) "
13450 PRINT " 0.1.  $\times 10^{-3}$  よりはるかに小さい。塩アソニウムイオンと平衡にある鹽イオン"
13460 PRINT " (Ag+) の濃度を計算する。"
13470 PRINT " (Ag) の濃度を計算する。"
13480 PRINT " (Ag) の濃度を計算する。"
13490 PRINT " (Ag) の濃度を計算する。"
13500 PRINT " (Ag) の濃度を計算する。"
13510 PRINT " (Ag) の濃度を計算する。"
13520 PRINT " (Ag) の濃度を計算する。"
13530 PUT (16+23 ,16+ 1 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13540 PUT (16+23 ,16+ 1 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
13550 PUT (16+ 9 ,16+ 3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13560 PUT (16+ 9 ,16+ 3 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
13570 PUT (16+ 5 ,16+ 6 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
13580 PUT (16+23 ,16+ 6 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13590 GOSUB +VAR2
13600 RETURN .
13610 #DSH35
13620 GOSUB +FLOW
13630 RETURN .
13640 #DSH36
13670 CLS 3
13680 PRINT " 溶液と水を:"
13690 PRINT " 溶液と水を:"
13700 PRINT " 溶液と水を:"
13710 PRINT " 溶液と水を:"
13720 PRINT " 溶液と水を:"
13730 PRINT " 溶液と水を:"
13740 PRINT " 溶液と水を:"
13750 PRINT " 溶液と水を:"
13760 PRINT " 溶液と水を:"
13770 PRINT " 溶液と水を:"
13780 PRINT " 溶液と水を:"
13790 PRINT " 溶液と水を:"
13800 PRINT " 溶液と水を:"
13810 PRINT " 溶液と水を:"
13820 PRINT " 溶液と水を:"
13830 PRINT " 溶液と水を:"
13840 GOSUB +VAR2
13850 RETURN .
13870 #DSH37
13880 CLS 3
13890 PRINT " 溶液と水を:"
13910 PRINT ;PRINT
13920 PUT (16+10 ,16+ 3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13940 PUT (16+14 ,16+ 3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13950 PUT (16+14 ,16+ 3 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
13960 PUT (16+14 ,16+ 3 ),KANUJI(MH228).PSET,FCOL,BCOL :'
13970 PRINT " C1O + + -HC1O "
13980 PUT (16+ 4 ,16+ 7 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
13990 PUT (16+ 4 ,16+ 7 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14000 PRINT " C1O + + -HC1O "
14010 PRINT " H + 3C1 + HC1O + -HgCl + HgO "
14020 PUT (16+ 3 ,16+ 9 ),KANUJI(MH130).PSET,FCOL,BCOL :'
14030 PUT (16+ 3 ,16+ 9 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14040 PUT (16+15 ,16+ 7 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14050 PUT (16+21 ,16+ 7 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14060 PUT (16+21 ,16+ 7 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14070 PUT (16+21 ,16+ 7 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14080 PUT (16+24 ,16+ 7 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14090 PRINT " 2H (NH3) Cl + 3C1 + 3HC1O + -2HgCl + N + +3H O + H "
14100 PUT (16+ 3 ,16+ 9 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14110 PUT (16+ 3 ,16+ 9 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14120 PUT (16+16 ,16+ 9 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14130 PUT (16+16 ,16+ 9 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14140 PUT (16+27 ,16+ 9 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14150 PUT (16+27 ,16+ 9 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14160 PUT (16+27 ,16+ 9 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14170 PUT (16+30 ,16+ 9 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14180 PUT (16+31 ,16+ 9 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14190 PUT (16+31 ,16+ 9 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14200 PUT (16+35 ,16+ 9 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14210 PUT (16+35 ,16+ 9 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14210 PRINT " "
14220 GOSUB +VAR2
14230 RETURN .
14240 #DSH38
14250 CLS 3
14260 PRINT " 注意と参考"
14270 PRINT " 注意と参考"
14280 PRINT " 注意と参考"
14290 PRINT " 注意と参考"
14300 PRINT " 注意と参考"
14310 PRINT " 注意と参考"
14320 PRINT " 注意と参考"
14330 PRINT " 注意と参考"
14340 PRINT " 注意と参考"
14350 PRINT " 注意と参考"
14360 PRINT " 注意と参考"
14370 #DSH39
14380 GOSUB +FLOW
14390 RETURN .
14400 #DSH40
14410 #DSH41
14420 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14430 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14440 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14450 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14460 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14470 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14480 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14490 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14500 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14510 PRINT " 溶出: 本液の抽出"
14520 GOSUB +VAR2
14530 RETURN .
14540 #DSH41
14550 CLS 3
14560 PRINT " 注意と参考"
14570 PRINT " 注意と参考"
14580 PRINT ;PRINT
14590 PRINT " 2HgCl + Sn + 2Cl - Hg Cl + SnCl "
14600 PUT (16+ 5 ,16+10 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14610 PUT (16+ 5 ,16+10 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
14620 PUT (16+ 5 ,16+10 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
14630 PUT (16+10 ,16+3 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14640 PUT (16+10 ,16+3 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14650 PUT (16+10 ,16+3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14660 PUT (16+13 ,16+3 ),KANUJI(MH224).PSET,FCOL,BCOL :'
14670 PUT (16+13 ,16+3 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14680 PUT (16+20 ,16+3 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14690 PUT (16+20 ,16+3 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14700 PUT (16+26 ,16+3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14710 PUT (16+26 ,16+3 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
14720 PUT (16+29 ,16+3 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14730 PRINT TAB(24);"(白色)"
14740 PRINT " Hg Cl + Sn + 4Cl - Hg + SnCl "
14750 PUT (16+ 4 ,16+ 7 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
14760 PUT (16+ 4 ,16+ 7 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
14770 PUT (16+ 4 ,16+ 7 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
14780 PUT (16+ 9 ,16+ 7 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14790 PUT (16+ 9 ,16+ 7 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14800 PUT (16+23 ,16+ 7 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14810 PUT (16+23 ,16+ 7 ),KANUJI(MH128).PSET,FCOL,BCOL :'
14820 PUT (16+23 ,16+ 7 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
14830 PUT (16+23 ,16+ 7 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
14840 PRINT TAB(29);"(白色)"
14850 PRINT ;PRINT
14860 PRINT " 上の商品毎に異なるので混合合体としては無色反応"
14870 PRINT " 上の商品毎に異なるので混合合体としては無色反応"
14880 GOSUB +VAR2
14890 RETURN .
14900 #DSH42
14910 #DSH43
14920 CLS 3
14930 PRINT " 注意と参考"
14940 PRINT " 注意と参考"
14950 PRINT " 注意と参考"
14960 PRINT " 注意と参考"
14970 PRINT " 注意と参考"
14980 GOSUB +VAR2
14990 RETURN .
15010 #DSH43
15020 GOSUB +FLOW
15030 RETURN .
15040 #DSH44
15060 CLS 3
15070 PRINT " 目的: 本液の抽出 !!!"
15080 PRINT " 目的: 本液の抽出 !!!"
15090 PRINT " 注意と参考: 本液(!!)を含む溶液にアンモニウムイオンとヨウ化イオンとを過量とする。"
15100 PRINT " 注意と参考: 本液(!!)を含む溶液にアンモニウムイオンとヨウ化イオンとを過量とする。"
15110 PRINT " 注意と参考: シアミヨウ化水素の両色反応を生ずる。(ネスラー反応)"
15120 PRINT " 注意と参考: "
15140 #DSH45
15150 #DSH46
15160 CLS 3
15170 PRINT " 溶液と水を:"
15180 PRINT " 溶液と水を:"
15190 PRINT " 溶液と水を:"
15200 PRINT " 溶液と水を:"
15210 PUT (16+ 4 ,16+10 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
15220 PUT (16+ 4 ,16+10 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
15230 PUT (16+ 4 ,16+10 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
15240 PUT (16+10 ,16+3 ),KANUJI(MH134).PSET,FCOL,BCOL :'
15250 PUT (16+12 ,16+3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
15260 PUT (16+12 ,16+3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
15270 PUT (16+12 ,16+3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
15280 PUT (16+32 ,16+3 ),KANUJI(MH132).PSET,FCOL,BCOL :'
15290 PUT (16+37 ,16+3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
15300 PUT (16+37 ,16+3 ),KANUJI(MH120).PSET,FCOL,BCOL :'
15310 RETURN .
15320 #DSH45
15330 #DSH46
15340 PRINT " SOTONH "
15350 PRINT USING "DSM46,MSD(S00)=& "
15360 PRINT ;PRINT
15370 GOSUB +VAR2
15380 RETURN .
15390 #DSH47
15400 #DSH48
15410 PRINT ;PRINT
15420 GOSUB +FLOW
15430 RETURN .
15430 PRINT ;PRINT

```

プログラムリスト2
(周期表の色分け)

P 2 - 1

```

2180 :
2200 *PA
2210 IF LP<1 THEN 2270
2220 FOR I=1 TO RP
2230   M=ILOC(I)
2240 PAINT(COOR,X(I)+2,COOR,Y(I)+2),0,5
2250 NEXT
2260 :
2270 PAINT(COOR,X(I)+1,COOR,Y(I)+1),0,5
2280 PAINT(COOR,X(I)+1,COOR,Y(I)+1),COLS(IR),5
2290 RETURN
2300 :
2310 IF MS=0 THEN MA=-1
2320 IF MS=1 THEN MA=0
2330 IF MS=2 THEN MA=1
2340 IF MS=3 THEN MA=2
2350 IF MS=4 THEN MA=3
2360 IF MS=5 THEN MA=4
2370 IF MS=6 THEN MA=5
2380 IF MS=7 AND LENKA8=2 THEN MA=2
2390 IF MS=8 AND LENKA8=3 THEN MA=3
2400 IF MS=9 AND LENKA8=0 THEN MA=0
2410 IF LEFT(IAK,1)='.' THEN MA=-1
2420 *SHIRO1.GOSUB *PERT:CONSOLE 23,2:COLOR 7:IR=1:LOCATE 44,4:PRINT '(回転)'
2440 *SHIRO1.GOSUB *PERT:CONSOLE 23,2:COLOR 7:IR=1:LOCATE 44,4:PRINT '[M. P.]'
2450 LINE(0, 0.337)-(32, 352),7,BF,COL(4):LOCATE 3,21:PRINT '1' -9°C
2460 LINE(44, 0.337)-(472, 352),7,BF,COL(4):LOCATE 40,21:PRINT '2' 100~199°C
2470 LINE(44, 0.337)-(472, 352),7,BF,COL(4):LOCATE 3,22:PRINT '3' 200~299°C
2480 LINE(0, 0.337)-(32, 368),7,BF,COL(4):LOCATE 39,22:PRINT '4' 300~499°C
2490 LINE(44, 0.337)-(472, 368),7,BF,COL(4):LOCATE 3,23:PRINT '5' 500~699°C
2500 CLS:PRINT '-0.5度の角度を入力して下さい。(0~360度 KEYEND)'
2520 CLS:COLOR 4:PRINT 'Hit the number key 1~4 (0(MA)) . Since key=0D0 '
2530 AA=INKEY$:IF AA="1" THEN 2330
2540 AA=INKEY$:IF AA="2" THEN 2340
2550 AA=INKEY$:IF AA="3" THEN 2350
2560 AA=INKEY$:IF AA="4" THEN 2360
2570 FOR I=1 TO 103:AD=VAL(AA):IR=0:
2580   IF AD>0 THEN IR=1:GOTO 2690
2590   IF AD<0 THEN IR=1:GOTO 2700
2600   IF AD=0 THEN GOTO 2700
2610   IF AD>1 OR AD<-1 AND ADP(I)<100 THEN IR=2:GOTO 2700
2620   IF AD>2 OR AD<-2 AND ADP(I)<1000 THEN IR=3:GOTO 2700
2640   IF AD>3 OR AD<-3 AND ADP(I)<2000 THEN IR=4:GOTO 2700
2650   IF AD>4 OR AD<-4 AND ADP(I)<3000 THEN IR=5:GOTO 2700
2670   IF AD>5 OR AD<-5 AND ADP(I)<4000 THEN IR=6:GOTO 2700
2680   IF AD>6 OR AD<-6 AND ADP(I)<5000 THEN IR=7:GOTO 2700
2690   IF AD>7 OR AD<-7 AND ADP(I)<6000 THEN IR=8:GOTO 2700
2700   IF AD>8 OR AD<-8 AND ADP(I)<7000 THEN IR=9:GOTO 2700
2710 NEXT
2720 GOSUB 2510
2730 :
2740 *SHIRO2.GOSUB *PERT:CONSOLE 23,2:COLOR 7:IR=1:LOCATE 44,4:PRINT '[ B. P. ]'
2750 LINE(0, 0.337)-(32, 352),7,BF,COL(1):LOCATE 3,21:PRINT '1' -9°C
2760 LINE(44, 0.337)-(472, 352),7,BF,COL(1):LOCATE 39,21:PRINT '2' 100~199°C
2770 LINE(0, 0.337)-(32, 368),7,BF,COL(1):LOCATE 3,22:PRINT '3' 200~299°C
2780 LINE(44, 0.337)-(472, 368),7,BF,COL(1):LOCATE 39,22:PRINT '4' 300~499°C
2790 LINE(0, 0.334)-(252, 369),7,BF,COL(5):LOCATE 3,23:PRINT '5' 500~699°C
2800 CLS:COLOR 4:PRINT 'Hit the number key 1~4 (0(MA)) . Since key=0D0 '
2810 CLS:COLOR 4:PRINT 'Value a minute '
2820 AA=INKEY$:IF AA="1" THEN 2820
2830 AA=INKEY$:IF AA="2" THEN 2830
2840 AA=INKEY$:IF AA="3" THEN 2830
2850 AA=INKEY$:IF AA="4" THEN 2830
2860 FOR I=1 TO 103:AD=VAL(AA):IR=0:
2870   IF AD>0 THEN IR=1:GOTO 2970
2880   IF AD<0 THEN IR=1:GOTO 2980
2890   IF AD=0 THEN GOTO 2980
2900   IF AD>1 OR AD<-1 AND ADP(I)<100 THEN IR=2:GOTO 2980
2910   IF AD>2 OR AD<-2 AND ADP(I)<1000 THEN IR=3:GOTO 2980
2920   IF AD>3 OR AD<-3 AND ADP(I)<2000 THEN IR=4:GOTO 2980
2930   IF AD>4 OR AD<-4 AND ADP(I)<3000 THEN IR=5:GOTO 2980
2940   IF AD>5 OR AD<-5 AND ADP(I)<4000 THEN IR=6:GOTO 2980
2950   IF AD>6 OR AD<-6 AND ADP(I)<5000 THEN IR=7:GOTO 2980
2960   IF AD>7 OR AD<-7 AND ADP(I)<6000 THEN IR=8:GOTO 2980
2970   IF ADP(I)>8 OR ADP(I)<-8 AND ADP(I)<7000 THEN IR=9:GOTO 2980
2980   IF ADP(I)>9 OR ADP(I)<-9 AND ADP(I)<8000 THEN IR=10:GOTO 2980
2990 NEXT
3000 GOTO 2910
3010 :
3020   メニュー を 見 サブルーチン
3030 MENU
3040 COLOR 4 : WIDTH 80, 23 : CLS 3 : CONSOLE 20, 3,0,1, IR=4
3050 PRINT 'The colored periodic table'
3060 X=0:Y=2:GOSUB 005
3080 AA=cls(classified by chemical or physical)
3090 X=0:Y=1:GOSUB 005
3092 X=0:Y=3:GOSUB 005
3100 IR=5
3120 AA=1: 'Data of elements' : IR=7:GOSUB 005
3120 AA=2: 'Melting Point' : IR=7:Y=10:GOSUB 005
3130 AA=3: 'Boiling Point' : IR=7:Y=12:GOSUB 005
3140 AA=4: 'Color of Sulfides' : IR=7:Y=14:GOSUB 005
3150 AA=5: 'Color of Hydroxides' : IR=7:Y=16:GOSUB 005
3160 AA=6: 'Hit the number key 1~6 1':IR=Y=21:GOSUB 005
3170 AA=INKEY$:IF AA="1" THEN 3170
3180 IF KAZUKI OR KAZU? THEN 3050
3190 RETURN
3191 :
3192 :
3200 *CS
3202 GOSUB *PERT
3204 FOR I=1 TO 103:GOSUB *PAI:NEXT
3210 AA="": 'Hit space key ' : X=0 : Y=23 : IR=4 : GOSUB =08
3220 IF AA=" " THEN 3230 ELSE 3212
3230 I=80:R=0:GOSUB *PA
3240 I=29:R=0:GOSUB *PA
3250 I=33:R=7:GOSUB *PA:AA="3":X=45:Y=9:IR=2:GOSUB *08
3260 I=82:R=0:GOSUB *PA
3270 AA="": 'Hit space key ' : X=0 : Y=23 : IR=4 : GOSUB *08
3280 AA="C": 'Hit space key ' : X=0 : Y=10:IR=4:GOSUB *08
3290 AA="S": 'Hit space key ' : X=0 : Y=11:IR=4:GOSUB *08
3300 AA="N": 'Hit space key ' : X=0 : Y=12:IR=4:GOSUB *08
3310 AA="O": 'Hit space key ' : X=0 : Y=13:IR=4:GOSUB *08
3320 AA="F": 'Hit space key ' : X=0 : Y=14:IR=4:GOSUB *08
3330 AA="P": 'Hit space key ' : X=0 : Y=15:IR=4:GOSUB *08
3340 AA="Cl": 'Hit space key ' : X=0 : Y=16:IR=4:GOSUB *08
3350 AA="Br": 'Hit space key ' : X=0 : Y=17:IR=4:GOSUB *08
3360 AA="I": 'Hit space key ' : X=0 : Y=18:IR=4:GOSUB *08
3370 AA="As": 'Hit space key ' : X=0 : Y=19:IR=4:GOSUB *08
3380 AA="Se": 'Hit space key ' : X=0 : Y=20:IR=4:GOSUB *08
3390 AA="Te": 'Hit space key ' : X=0 : Y=21:IR=4:GOSUB *08
3400 AA="Te": 'Hit space key ' : X=0 : Y=22:IR=4:GOSUB *08
3410 RETURN
3412 :
3420 **CC

```

```

3630 GOSUB *PERT
3640 CONSOLE 23.3.0.1
3650 *R=1
3670 FOR I=1 TO 103:GOSUB *PAINEXT
3680 DATA "Hit space key 1 : X=0 : Y=23 : IRO=4 : GOSUB *DS
3690 IF A$="" THEN 3710 ELSE 3690
3710 I=2+6*I:R=1:GOSUB *PA
3720 I=2+6*I:R=2:GOSUB *PA
3730 I=2+6*I:R=11:GOSUB *PA
3740 I=2+6*I:R=12:GOSUB *PA
3750 A$="Hit space key 1 : X=0 : Y=23 : IRO=4 : GOSUB *DS
3760 IF A$="" THEN 3780 ELSE 3760
3780 RETURN
3790 .
3792 .
3800 *TY
3810 DATA "PERIODIC TABLE OF ELEMENTS"
3820 CONSOLE 23.3
3830 LINE(1,0,0,0,-0.337)-(32,-352),7,BF,COL#(14)*LOCATE 5,21,PRINT'1) Alkali metals'
3840 LINE(175,337,-)(208,352),7,BF,COL#(2)*LOCATE 27,21,PRINT'2) Halogens
3850 LINE(175,337,-)(208,352),7,BF,COL#(3)*LOCATE 37,21,PRINT'3) Inert gases
3860 LINE(149,337,-)(31,-352),7,BF,COL#(4)*LOCATE 47,21,PRINT'4) Non-metals'
3870 A$=INKEY$:IF A$="" THEN 3870
3880 IF A$="K" THEN 3890
3890 CLS:COLOR 4,1:PRINT"Wait a minute"
3894 ON KB GOSUB 4080,410,4140,4170
3900 FOR I=1 TO 10 STEP 1:GOSUB *PAINEXT
3910 FOR I=3 TO 19 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
3920 LINE(175,337,-)(208,352),7,BF,COL#(1)*LOCATE 1,21,PRINT'1) Alkali metals'
3930 LINE(175,337,-)(208,352),7,BF,COL#(2)*LOCATE 11,21,PRINT'2) Halogens
3940 LINE(175,337,-)(208,352),7,BF,COL#(3)*LOCATE 21,21,PRINT'3) Inert gases
3950 LINE(175,337,-)(208,352),7,BF,COL#(4)*LOCATE 31,21,PRINT'4) Non-metals'
3960 LCLS:COLOR 4,1:PRINT"Hit the number key 1-4 ! (Space key-END)"
3970 A$=INKEY$:IF A$="" THEN 3860
3980 CLS:COLOR 4,1:PRINT"Wait a minute"
3984 ON KB GOSUB 4080,410,4140,4170
3988 ON KA GOTO 3900,3910,4000,4010
3990 FOR I=3 TO 10 STEP 1:GOSUB *PAINEXT
4000 FOR I=3 TO 19 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4010 FOR I=1 TO 10:GOSUB *PAINEXT
4020 FOR I=1 TO 19:GOSUB *PAINEXT
4030 FOR I=33 TO 36:GOSUB *PAINEXT
4040 FOR I=33 TO 36:GOSUB *PAINEXT
4050 FOR I=33 TO 36:GOSUB *PAINEXT
4060 FOR I=33 TO 36:GOSUB *PAINEXT
4070 KB=4:GOTO 3960
4080 FOR I=3 TO 19 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4090 FOR I=3 TO 19 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4100 FOR I=3 TO 19 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4110 FOR I=1 TO 17 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4120 FOR I=33 TO 53 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4130 FOR I=1 TO 17 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4140 FOR I=2 TO 18 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4150 FOR I=34 TO 54 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4160 FOR I=1 TO 2 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4170 FOR I=1 TO 10 STEP 1:R=14:GOSUB *PAINEXT
4180 FOR I=5 TO 10:GOSUB *PAINEXT
4190 FOR I=14 TO 18:GOSUB *PAINEXT
4200 FOR I=23 TO 36:GOSUB *PAINEXT
4210 FOR I=23 TO 36:GOSUB *PAINEXT
4220 FOR I=85 TO 94:GOSUB *PAINEXT
4230 RETURN
10000 .
10010 .
10020 .
10030 .
10040 DATA 1A,2A,1C,-1C,1B,2B,3B,4B,5B,6B,7B,8B,9B,10B
10050 DATA 3A,4A,5A,6A,7A,8A
10060 DATA IC,1C,2C,3C,4C,5C,-7C,8C,9C,10C,11C,12C,13C,14C
10070 .
10080 .  
元素名 元素符号 原子量 周期 电子层 价数 E 阴离子半径
10090 DATA Hydrogen, H, 1, 0.0794,-29.14,-292.9, 13,40, 0,-0.3
10100 DATA Helium, He, 4, 0.0260,-272.2,-268.9, 24,58, 0.93
10110 DATA Lithium, Li, 6, 9.4,-179, 1317, 5,39, 1,-0.52
10120 DATA Beryllium, Be, 9, 11.0,1200, 1200, 9,42, 1,-0.52
10130 DATA Boron, B, 10,81,-2300, 2550, 8,30, 0.68
10140 DATA Carbon, C, 12,0.01,-3550, 4827, 11,26, 0.77
10150 DATA Nitrogen, N, 14,0.067,-209.86,-195.8, 14,54, 0.70
10160 DATA Oxygen, O, 15,0.01,-414, 414, 13,66, 0.66
10170 DATA Fluorine, F, 18,998403,-219.62,-188, 17,42, 0.64
10180 DATA Neon, Ne, 20,179,-248.67,-246.0, 21,60, 1.12
10190 DATA Sodium, Na, 22,98977,-97.81, 882, 5,14, 1.86
10200 DATA Magnesium, Mg, 24,2437,-61.0, 610, 3,12, 1.60
10210 DATA Aluminum, Al, 26,98154, 660.4, 2457, 5,98, 1.43
10220 DATA Silicon, Si, 28,085,-1414, 2355, 9,15, 1.17
10230 DATA Phosphorus, P, 30,05376,-100.1, 2885, 11,24, 1.10
10240 DATA Sulfur, S, 32,06,-119,-144,-170, 8,30, 0.68
10250 DATA Chlorine, Cl, 35,453,-100.98,-34.6, 13,01, 0.99
10260 DATA Argon, Ar, 39,948,-189.2,-185.7, 15,76, 1.54
10270 DATA Potassium, K, 39,07983,-105.5,-105.5, 4,34, 2.31
10280 DATA Calcium, Ca, 40,08,-840,-1407, 4,34, 1.97
10290 DATA Scandium, Sc, 44,9559,-1539, 2727, 6,56, 1.60
10300 DATA Titanium, Ti, 47,8,-1675, 3260, 6,63, 1.46
10310 DATA Vanadium, V, 50,1915,-1807, 3200, 6,71, 1.31
10320 DATA Chromium, Cr, 51,996,-1890, 2482, 6,76, 1.25
10330 DATA Manganese, Mn, 54,9380,-1244, 2097, 6,43, 1.29
10340 DATA Iron, Fe, 55,5675,-1537, 2300, 7,51, 1.26
10350 DATA Cobalt, Co, 59,64,-1332,-1494, 3100, 7,68, 1.26
10360 DATA Nickel, Ni, 59,69,-1455, 2732, 7,63, 1.24
10370 DATA Copper, Cu, 63,54,-1084.5, 2595, 7,72, 1.20
10380 DATA Zinc, Zn, 65,45,-479, 1000, 9,32, 1.23
10390 DATA Gallium, Ga, 67,72,-29.78, 2603, 3,98, 1.22
10400 DATA Germanium, Ge, 72,59,-930.5, 2700, 7,89, 1.22
10410 DATA Arsenic, As, 74,9216,-817,-613, 9,06, 1.21
10420 DATA Antimony, Sb, 75,1195,-220,-200, 660, 9,17, 1.17
10430 DATA Bismuth, Bi, 79,904,-7.2,-58.8, 11,84, 1.14
10440 DATA Krypton, Kr, 83,80,-154.6,-152.3, 14,00, 1.69
10450 DATA Rubidium, Rb, 85,-4670,-38.89,-188, 15,18, 2.44
10460 DATA Strontium, Sr, 87,64,-705,-1394, 5,59, 1.15
10470 DATA Yttrium, Yt, 88,9059,-1495, 2927, 6,37, 1.80
10480 DATA Zirconium, Zr, 91,22,-1852, 3578, 6,85, 1.57
10490 DATA Niobium, Nb, 92,9064,-2400,-2400, 6,95, 1.56
10500 DATA Molybdenum, Mo, 96,94,-2410, 5500, 7,11, 1.41
10510 DATA Technetium, Tc, -98,-2200, 5030, 7,28, 1.3
10520 DATA Ruthenium, Ru, 101,-07,-2250, 3900, 7,43, 1.33
10530 DATA Rhodium, Rh, 102,-05,-2250, 3900, 7,43, 1.33
10540 DATA Platinum, Pt, 106,-42,-1534, 3167, 8,32, 1.39
10550 DATA Silver, Ag, 107,-8602,-961.9, 2212, 7,58, 1.44
10560 DATA Cadmium, Cd, 112,-41,-321.1,-165, 8,97, 1.49
10570 DATA Tin, Sn, 114,-10,-100,-200, 3,10, 1.43
10580 DATA Tellurium, Te, 118,-69,-231,-97, 2270, 7,33, 1.4
10590 DATA Zincium, Zn, 121,-75,-630.7,-1635, 8,64, 1.41
10600 DATA Tellurium, Te, 127,-64,-449.8,-1378, 9,02, 1.37
10610 DATA Indium, In, 129,-20,-2045,-6, 184.4, 10,27, 1.35
10620 DATA Xenon, Xe, 131,-29,-111.9,-107.1, 12,1, 1.90
10630 DATA Cassium, Cs, 132,-9054,-28.5,-690, 3,90, 2.62
10640 DATA Barium, Ba, 136,-105,-920, 3469, 3,6, 1.99
10650 DATA Calcium, Ca, 140,-12,-795, 3468, 5,4, 1.9
10660 DATA Cerium, Ce, 140,-9077,-935, 3127, 5,4, 1.9
10670 DATA Praseodymium, Pr, 144,-2,-1024, 3027, 6,3, 1.9
10680 DATA Neodymium, Nd, 144,-2,-1024, 3027, 6,3, 1.9
10690 DATA Proactinium, Pa, -145, 1035,-105,-1072, 1900, 5.6,-0.9
10700 DATA Samarium, Sm, -150,3,-1072,-105, 1316,-1,0.9
10710 DATA Europium, Eu, -150,3,-1072,-105, 21,132, 3000, 6.2,-0.9
10720 DATA Gadolinium, Gd, -150,3,-1072,-105, 159,9254,1356, 2000, 6.0,-0.9
10730 DATA Terbium, Tb, -162,5,-1407,-105, 162,51, 2600, 5.9,-0.9
10740 DATA Dysprosium, Dy, -162,5,-1407,-105, 162,51, 2500, 5.9,-0.9
10750 DATA Holmium, Ho, -167,2,-1522,-105, 167,2, 2510, 6.1,-0.9
10770 DATA Thulium, Tl, -168,934,-1545,-105, 168,934,1545, 1727, 6.2,-0.9
10780 DATA Ytterbium, Yb, -173,0,-824,-105, 173,0, 2427, 6.2,-0.9
10790 DATA Lutetium, Lu, -178,4,-157,-105, 178,4, 3227, 6.2,-0.9
10800 DATA Hafnium, Hf, -178,4,-157,-105, 178,4, 5400, 7.0,-0.9
10810 DATA Tantalum, Ta, -180,947,-2996,-105, 180,947,2996, 5425, 7.9,-0.9
10820 DATA Tungsten, W, -183,8,-3387,-105, 183,8, 5970, 8.0,-0.9
10830 DATA Rhenium, Re, -187,2,-307,-105, 187,2, 5637, 8.1,-0.9
10840 DATA Osmium, Os, -190,2,-2700,-105, 190,2, 5300, 8.7,-0.9
10850 DATA Iridium, Ir, -192,2,-2447,-105, 192,2, 4527, 9.0,-0.9
10860 DATA Platinum, Pt, -195,0,-1772,-105, 195,0, 3864, 9.1,-0.9
10870 DATA Rhodium, Rh, -196,0,-1645,-105, 196,0, 2964, 9.2,-0.9
10880 DATA Mercury, Hg, -200,5,-38.86,-105, 200,5, 356,46,10.5,-0.9
10890 DATA Thallium, Tl, -204,383,-302.5,-105, 204,383,302.5, 1457, 6.1,-0.9
10900 DATA Lead, Pb, -208,2,-257,-105, 208,2, 3225, 5.8,-0.9
10910 DATA Bismuth, Bi, -208,2,-257,-105, 208,2, 1560, 7.3,-0.9
10920 DATA Polonium, Po, -209,-254,-99.2,-105, 209,-254, 962, 6.4,-0.9
10930 DATA Astatine, At, -210,-99.2,-99.2,-105, 210,-99.2, 995, 9.5,-0.9
10940 DATA Francium, Fr, -214,-99.2,-99.2,-105, 214,-99.2, 106,-0.9
10950 DATA Flerovium, Fl, -223,-99.2,-99.2,-105, 223,-99.2, 995,-0.9
10960 DATA Radon, Rn, -226,0254,-700,-105, 226,0254, 700, 1140, 5.3,-0.9
10970 DATA Actinium, Ac, -227,0278,-1050,-105, 227,0278,1050, 3200, 4.9,-0.9
10980 DATA Protactinium, Pa, -231,0359,-1230,-105, 231,0359,1230, 1600, -9,-0.9
11000 DATA Uranium, U, -239,0209,-1133,-105, 239,0209,1133, 3818, 6.1,-0.9
11010 DATA Neptunium, Np, -237,0482,-640,-105, 237,0482,640, 3225, 5.8,-0.9
11020 DATA Americium, Am, -243,-850,-850,-105, 243,-850, 2600, 6.1,-0.9
11030 DATA Curium, Cm, -247,-999,-999,-105, 247,-999, 995,-0.9
11040 DATA Berkelium, Bk, -247,-999,-999,-105, 247,-999, 995,-0.9
11050 DATA Californium, Cf, -247,-999,-999,-105, 247,-999, 995,-0.9
11060 DATA Einsteinium, Es, -252,-999,-999,-105, 252,-999, 995,-0.9
11070 DATA Fermium, Fm, -257,-999,-999,-105, 257,-999, 995,-0.9
11080 DATA Nobelium, No, -259,-999,-999,-105, 259,-999, 995,-0.9
11090 DATA Lawrencium, Lr, -260,-999,-999,-105, 260,-999, 995,-0.9
11100 DATA Curium, Cm, -260,-999,-999,-105, 260,-999, 995,-0.9
11110 DATA Americium, Am, -260,-999,-999,-105, 260,-999, 995,-0.9
11120 DATA Curium, Cm, -260,-999,-999,-105, 260,-999, 995,-0.9
11130 *file data
11140 DATA C000033000000.F8888FF2222.0000CC00000033
11150 DATA 000080000022.00CC00003300.00FF0000FF00
11160 DATA 0FFFFF00FFFF.00D8920054FA.04FF5120F9FA
11170 DATA FFFFFFFFFFFF.0000AA00000055.00FF5300FFAA
11180 DATA 0FFF5300FFAA.AA0330035AA0
```

6. 結 言

本プログラムは系統分析実験の解説において、多くの反応式や操作法を即座に大型スクリーンを介して学生に示すことができる。また、分析フローシートと実験操作法とを交互に表示することができるので系統分析法の流れを学生に理解させるうえで大いに威力を発揮する。

ややもすれば cook book 的実習になり易い学生の化学実験を少しでも本来の目標に近づけるため実験解説において教師は教材や資料の吟味のほか説明に十分な工夫を行なう必要があるが、本システムを用いることによりこれまで板書等に費してきた労力の一部でも他にまわすことができるようになる。これによって教室内の雰囲気を微妙に感じとり学生の理解にあわせて適切な言葉で説明を加えていくという本来の授業の形に近づくことが可能であると思われる。

(1985年9月、東北地区化学教育研究協議会において発表。)

文 献

- 1) 土方克法, 化学教育 29, 124 (1981)
- 2) 下沢隆, 黒石佳伸, 化学教育 31, 189 (1983) など
- 3) 中津正志, 藤島豊, 笹村泰昭, 廣川一己, 林雄二, 昭和 59 年度高専情報処理教育研究発表会予稿集, p 7 (1984)
- 4) 中津正志, 高橋達男, 精密機械 51, 1870 (1985)
- 5) 笹村泰昭, 中津正志, 藤井清志, 宇野克志, 遠藤俊二, 川村静夫, JAPC 7, No. 1, 41 (1985)
- 6) 宇野克志, 遠藤俊二, 笹村泰昭, 阿部嗣信, JAPC 7, No. 2, 82 (1985)
- 7) 林良治, 段 勝, 「基礎分析化学実験」共立出版 (1985)
- 8) 笹村泰昭, 阿部嗣信, 宇野克志, 日本化学会第 50 春季年会化学教育・化学史講演予稿集, p 45 (1985)
- 9) 佐藤琢夫, 昭和 59 年度東北地区化学教育研究協議会要旨集, p 8 (1984)
(昭和 60 年 11 月 30 日受理)

